

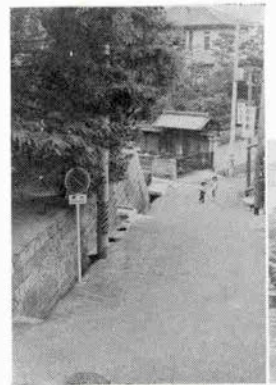
▲五宮のお宮さんの立派な石段と鳥居

◀梅元町。階段にそった長屋の町並み。



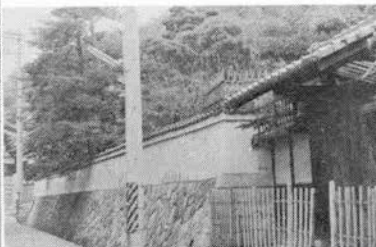
▲祥福寺の門

▼祥福寺の門の前の大きなお屋敷

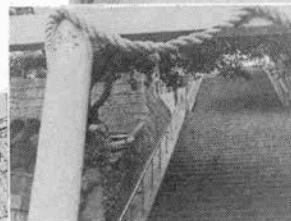
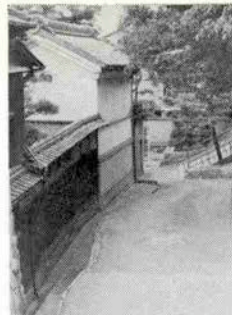


自動車の走らないちびっこ遊戯道路。子供たちが三輪車で走りまわっている。

山すそにつながるお屋敷が並んでいる場と門、上祇園町。



▶祥福寺の階段、東からの落着いた静かな坂



▲祇園神社の階段

明治22年創業とかの時計屋さん。この通りには、建具屋さん、ブリキ屋さんなどの職人さんの古い町屋が並んでいる。⑨▼



神戸のアーバンデザイン

92

水谷頌介 + チーム・UR

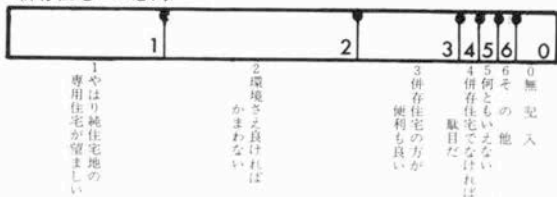
(自動車が入ってこない落ちついた山すその町並み) 平野



《町屋的居住の評価》

水谷 順介十チーム・UR

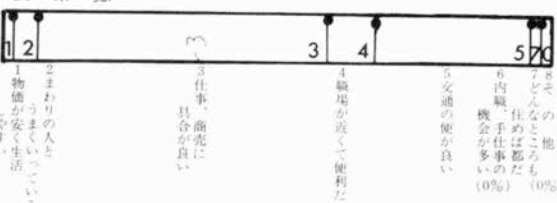
《併存住宅への意向》



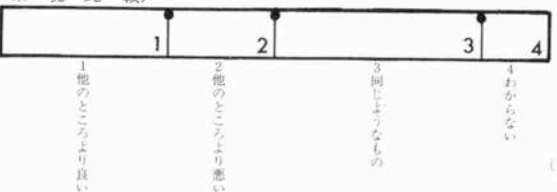
《悪環境》



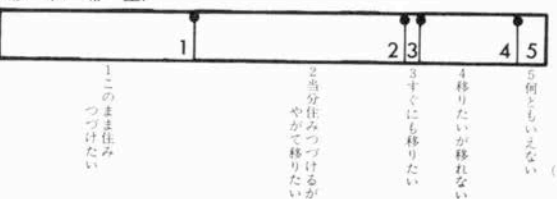
《良環境》



《環境比較》



《移転希望》



●ある最近の調査によると、元町通1、2丁目の場合、併存住宅で町の中にお店と一緒に住むことは、環境さえよければかまわないし便利だという人が結構いらっしゃるようです。良い点は、仕事、商売に都合がいいということと、交通の便です。悪い点は、樹木、緑が少ないことと、子供の遊び場がないことです。

●こういったところが、他のところより悪いと答えた人よりも同じようなものだと感じている人のほうが多いようですが、このままでは住みつづけることにはやや疑問をもっていらっしゃる人が多いようです。このような屈折した結果をみますと、緑、公園などを整備していけば、町のなかでの生活はむしろ特殊ではなく一般的なかたちとして存続しうるのだということになりそうです。

●自動車をもっている人も、交通の便利のためか半分です。住職分離、すなわちねぐら住宅地と日曜日や夜には人間気のない不気味な市街地、そしてそれをつなぐ交通過密という現代都市を、町屋的住宅市街地形態で住職接近の都市に取り戻していくことが、まだまだ可能のようです。

## ★技術ジャーナル<sup>⑩</sup>

# FRPM管

(強化プラスチック複合管)

諸岡 博熊

(神戸市土木局参事)

車に乗る人、工事現場で働く人、デバ学生などの被るあのヘルメットは、FRP(強化プラスチック)製で、軽くて強いという特徴をもつ。これは熱硬化性の樹脂をガラス繊維で強化した複合材料。ボートの船体、家庭用浄化槽など各分野で使用されている。

この強化プラスチックをさらに剛性と弾性範囲を大きくして、管状に成形したもの——FRPにレジンコンクリート(プラスチックモルタル)を組み合わせたFRPM管が徐々に普及し始めている。

米国では、すでに一九六五年頃から、市販され、複合パイプの軽量かつ高強度で耐食性に優れている特性を活かして、上下水道、農業用水、石油輸送、薬液輸送用パイプとして、また、海底パイプとして、幅広い普及をみている。

①FRP層の間にレジンコンクリート(不飽和ポリエステル樹脂と珪砂が主成分)を挿入して一体構造に成形するサンドイッチタイプと、②レジンコンクリートをF

FRPM管と各種市販パイプとの重さ比較  
(但しφ1,200mm重量は参考まで)

市販の管の種類	厚さmm	重量kg/m	比率
P C 管	70	1,050	5.5
ヒューム管 (B型)	95	1,095	5.8
石綿セメント管 (3種)	65	538	2.8
セメントライニング、ダクタイル 鋳鉄管 (3種)	25	537	2.8
塗覆装鋼管	11	331	1.7
FRPM管	24	190	1.0

RPで、交互に連続補強するものガラス繊維を切断しないで、樹脂を含浸させた長繊維を芯金に巻きつけ、硬化炉で成形する積層タイプといった主たる成形法がある。

FRPM管の特徴は、①軽い。表を参考。②強靱な引っ張り強度をもつガラス繊維(一平方メートルあたり一五〇鎰以上)を使用するため、大きな土圧、車両荷重などの外圧に対し強い。③耐食性よく、電食の心配がない。④摩擦損失が少なく内面がなめらか。粗度係数

(n値) 〇・〇〇八〇〇〇九  
流速係数(C値) 一四〇〇一六〇  
で設計できる。したがって、パイプ口径を従来のものより小型にでき経済的。⑤水中にてヒューム管の約十二分の一の摩擦量のため、摩擦損失が少なく、熱膨張係数が小さく断熱性がよい。

つまるところ、物性面では、鋼管、鋳鉄管、コンクリート管、プラスチック管などの従来のパイプのもつ欠点をほとんど補っているといえる。

とくに、工事現場での使用に当り、①軽いため小運搬容易、②接合が簡単、③砂基礎程度で済む、すなわち、切断が容易で短時間でジョイントできるといった施工性に富むため、工費が安くなるといふメリットをもつ。

一般的に、各種パイプについて材料、工事費込みの、現場搬入、ジョイントまでの費用から比較すると、鋼管などの鉄系のパイプや石綿セメント管などより安く、ヒューム管より高いといわれる。

問題は、価格にある。すなわち不飽和ポリエステル樹脂などの高分子材料は、石油価格の高騰によって、原材料費がアップするため、普及価格の安定性が問題点。



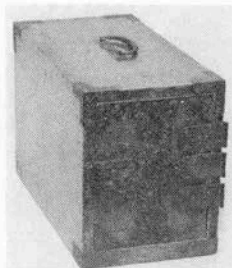
豪華美術書  
限定稀覯本  
大展示即売会

併催 正筆会秀作書展

会期 12月7日(土)・8日(日)・9日(月)  
午前10時～午後6時  
会場 日生ビル12F大ホール  
(国鉄神戸駅前)

主催 株式会社海文堂書店  
後援 神戸市教育委員会

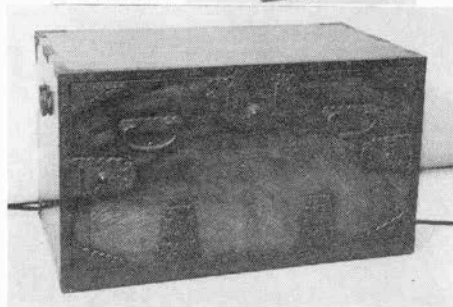
美術骨董  
古美術  
剣書  
刀画



◀ 錢箱(江戸中期) ¥70,000

▼ 舟罩箱(江戸中期)

長さ 81cm  
高さ 46cm  
奥行 44cm  
¥300,000



鑑定 買入  
研白鞘 拵御承処

神戸市生田区元町通6丁目25番地

美術骨董 元河美術

〒650

TEL078-351-0081

装いはひと自身。

Merry Christmas



O-SHIBATA

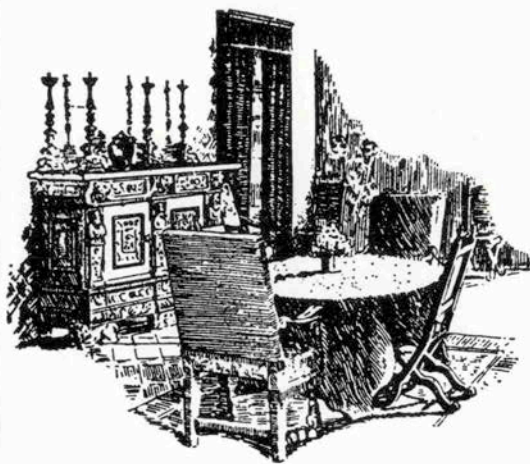
柴田音吉洋服店



神戸・元町4丁目南  
大阪・高麗橋2丁目

神戸 341-0693  
大阪 231-2106

欧風家具・婚礼家具



設計・制作

永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目 大丸前 TEL神戸(391)3737  
(代表)  
東京店・東急百貨店 {日本橋店内6階 TEL03(211)0511  
本店(渋谷)7階 TEL03(462)3180  
工場 神戸市垂水区多聞町小東山975-35  
神戸木工センター TEL(078)706-5913



# 神戸の創作音楽を

柴田 仁〈音楽評論家〉

松本 幸三〈テノール歌手〉

朝比奈 千足〈クラリネット奏者〉

寺井 昭子〈神戸音楽友の会〉

★会場は立派になったもの……

柴田 神戸文化ホールができて神戸も会場の条件はすごくよくなりましたね。神戸では演奏会はやれないというふうに長い間いわれてきましたが……。

寺井 昔は満足を会場がなくて、戦前戦後は商工会議所や山手の教会、海員会館なんかで演奏会をやったものね。

朝比奈 原田にあった関学のチャペルとか山手女子学園でもありましたね。

寺井 山手学園でやる時は、下の教室から生徒さんの椅子を全部講堂に運び上げて、コンサートが終わったら、またそれを教室にもどすんです。

学校側はすごく好意的でありがたかったんですが、なにしろ学校の講堂だということで汚しちゃいけないとずいぶん神経を使いましたね。

それにその頃は前の道が舗装されていなくて、雨が降るとタクシーが上まで上がってくれないんです。殿本真理さんがまだいつも袴でステージに立っていらした頃、雨の日に車から降ろされて、袴をキッとまくり上げて登

ってこられた。涙ぐましかったですね。

松本 今でも歩いて上がるのは大変なところですよ。

柴田 新開地の聚楽館や松竹座、松竹劇場でもやっていましたね。

朝比奈 昔はオーケストラも規模が小さかったのでやれたんですね。まだ国際会館もなかった頃で、オーケストラがやれるというと聚楽館くらいでしたものね。

寺井 文化ホールができて、今はオペラをやるにもオペットが入る理想的なところがやっとなってきたんですね。

会場が十分でなかった頃にもずいぶんオペラ公演をやったものだけど、やっとならオペットの入る会場ができて今はお客が来ない。うまいかないもので……。

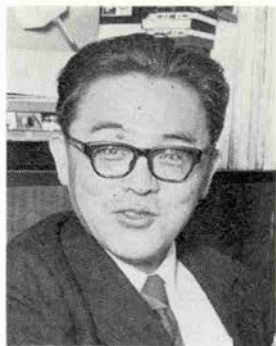
松本 今は会場が大きすぎて、かえって使いにくいということがありますね。

寺井 それに会場がよくなると今度は演奏会に行く人が増えないという、皮肉ですね。

★学校を出るとクラシックなんか聞かない？

柴田 今は他に娯楽がたくさんあるからかねえ。





柴田 仁さん

昔ね、朝比奈さんのお父さん（朝比奈隆さん、大フィル指揮者）が、「向こうへ行く」と劇場と音楽会しか

ないねん、日本にはパチンコはあるしな……とおっしゃるんです。僕はそんなに日本に娯楽が多いかなあ、という気で聞いていたけれど、今になってみると確かにそういうことなんですよ。

寺井 夜だって遅くまで遊べるところがたくさんあるけれど、ソビエトなんかだと、夜遊ぶところなんて全然ありませんものね。だから結局音楽会なんかへ行くってことになる。

朝比奈 学校時代の友人たちもみんな音楽が好きでね。だから僕らの世代の音楽人口は決して少なくないはずなのに、たまに会って聞くと、学校を卒業してからナマの音楽会に行ったことない、いうんですね。

定時までクタクタになって働いて、それから音楽会に行こうという気にもならないだろうし、それに、演奏会活動の情報が一方通行で、市民に確実に届いていないんじゃないのかな。

もっと安く簡単な方法で広く知らせることができなければ……。外国だと無料配布の案内パンフレットがそこら



寺井昭子さん

じゅうに置いてあるんですよ。松本 マスコミが、そういう方面に理解がないともいえるんじゃない

いですか。

柴田 新聞社も最近は音楽や演劇より、レジャーの方に力を入れていきますね。その方が読者が読むということでしょうね。

評論家が地元の音楽家の演奏会について書く場が全くないですもの。ウィーンフィルが来た時に批評を頼まれることはあっても、大フィルの定期演奏会だって新聞に出ないでしょう。

★有名な音楽家にはかり集中する……

柴田 文化ホールができて以来、音楽会の雰囲気が変わって来たということはないですか。どうも気取った人が多くなったようだ。大阪の方が、もっと庶民の音楽になっていきますよ。

松本 有名な人がやる時には会場が満員になるけれど、地元の音楽家だと、そんなに悪くない人なの客が入らないですね。

柴田 神戸の人はスレてる、というか有名なものをよく知っていますね。

寺井 マスコミで一定の評価のあるものに対してのときはいいんですが、じゃあ、よかったからもう一度聞こう、何回も回を重ねてじっくり聞きこんでいくってことがないですね。

だから初めてやるものは、それもとくに有名なものは興行的にも心配ないのですが、ところが、いくら有名なものでも二回三回となると危いんですね。

松本 プロダクションも大阪だし、評論家の方々もほとんど音楽会は大阪へ聞きに行かれる、神戸でやっても地元の新聞も取上げてくれないってことになる、演奏する者の立場からいうとやっぱり大阪でやろうということになる。そう考えている人が多いんじゃないかな。

だから神戸の音楽家でも、地元でより大阪の方が名前が知られている、というような変なことになります。柴田 神戸もそうだし、全国的にも関西は音楽活動はダ



朝比奈千足さん

メだ、という  
先入感がある  
ようですね。  
今年の新人は  
…というよう  
な話し合いの  
場でも「いや  
関西にはいな  
いなあ」とひとことで片づけられてしまふ、いい活躍を  
している人もいるんですがね。



松本幸三さん

松本 神戸でたにしの会というのが有るんです。これは  
地方では珍しい作曲グループで、日本のな音を作品の中  
に生かそうという人たちの集まりです。そして作曲した  
ものを毎年発表しているんですが地道ないい活動です。  
こういう団体があるってことが全然知られていないんで  
すからね。  
自分たちでアビールに行くってことも必要なんでしょ  
うが、売り込みに行くのは大変難しいことだね。演奏会  
前には演奏のことで頭がいっぱいだし、切符は売らなき  
やいけないし……。  
柴田 昔はプロダクションの方で新聞社回りをやってく  
られていたでしょう。だから演奏家と批評家の間の交流も  
あったしね。

★「第九」を聞いて、やっと年を越し  
朝比奈 今、クラシックの景気がいいのは暮れの「第九」  
だけですね。

柴田 それも  
おもしろい現  
象ですね。戦  
前はナマで聞  
く機会なんか  
なかったです  
し戦後すぐに

関響がやってたけれど年末には限っていなかったもの。  
寺井 私が初めて「第九」を聞いたのは真夏でしたよ。  
いつの頃からか暮れにかたよって来たんですね。  
今は「第九」は暮れにやると客が入るけれど、六月や  
八月にやるとさっぱり入らないそうですね。

朝比奈 「第九」には一般の人たちの関わる部分がある  
からでしょうね。コーラスを一緒にやろうという企画が  
ものすごく功を奏した。今年の暮れに「第九」を歌う人  
のべ数なんてかなりですよ。

寺井 今年は京響がやらないけれど、神戸でも二つ「第  
九」をやりますね。

朝比奈 技術的には厳密にいうと素人の歌える歌ではな  
いんですが、歌う場所が少ない練習に手頃なんですね。  
これがメサイヤだとそうはいかない。

松本 この頃は「第九」をやらないことには年を越せな  
いというような……。

柴田 夏向きの人気番組も作らないといけないですね。  
昔は王子動物園の野外ステージなどで「たそがれコンサ  
ート」をよくやっていましたからね。

朝比奈 六甲山の上でやるとか、淡路島でやるとか、僕  
も考えたんですよ。マネージャーと検討してみても、やっ  
ぱりやめといた方が、という結論になりましたね。

企画自体すごいお金がかかるし、それに人材もいるよ  
うでないんですね。あらゆるジャンルにわたる人が必  
要なので、どうしてもアンバランスになりますね。

寺井 でもあまり出演者を揃えなければやれるんじゃない  
かしら。最初の一、二年はしんどいでしょうけれど、  
定着してしまえばね。

意義を感じてくれるスポンサーがあればね……。

朝比奈 軽井沢でやっているのは今年でもう三度目だけ  
れど、よく続いていると感心しています。出演者にずい  
分シワ寄せがきているはずで、非常な努力ですよ。



★地元にも活躍している音楽家が

松本 今いちばん活躍しているのは母親コーラスじゃないですか。

柴田 団地単位の母親コーラスは全国的に盛んならしいですね。

松本 文化ホールで母親コーラス交歓会というのをやってたら、出場団体が60以上といますから。もともと神戸はコーラスの強いところでしたけれど。

アマチュアのオーケストラでは神戸コンサートオーケストラがありますね。やっていらっしゃるのは明石の潮崎満さん。この間アマチュアや学校のオーケストラを集めて兵庫県オーケストラ合同演奏会がありました。

柴田 ほう、珍しいですね。

作曲の部門で活躍しているのは中村茂隆さんかな。

松本 たにしの会の中西覚さん。小山清茂さんのお弟子さんです。たにしの会は小山先生が山手短大に東京から月一度教授にいらっしゃるので、先生を中心に生まれたもので、手の作曲科の先生、卒業生、阪神間の日本の音楽の作曲を志向している人たちがメンバーです。

たにしの会の発表会風景



朝比奈 大前哲さんも現代音楽ですが、フルート、クラリネットなど管楽器に強くて、いい感覚を持つてるみたいですね。

間とか、能のヨォーッとかハアッとかの声を挿入したりクラリネットに尺八の感覚を要

求したり、日本的なものです。舞台をまっ暗にしてクラリネットとフルートを舞台の上下に分かれて向かい合ってます、客席の方を向かないで。それでヤッ、オーッとやるんですね。

新しい音楽は日本的なもの、というのが最近の傾向のようですね。

松本 武満徹さん以来ですかね。

朝比奈 一般に邦楽の世界の人も現代音楽に近づいたり今はどちらからも歩みよっているようですね。

松本 琴と一緒にやる宮城道雄作曲の「日蓮」は僕もよく演奏しましたが、今度、「信楽狸」つてのをやるんです。邦楽のオーケストラをバックに一人歌うもので、今まではよく長唄関係の人がやってたんですが、それを洋楽調に歌ってくれというんです。楽譜も五線譜に直して。

柴田 歌の方ではここにいらっしゃる松本幸三さんや小村亮三さん、それに田原祥一郎さん、こういった方たちが活躍していらっしゃいますね。

松本 二期のソプラノで沢田せつさんもいいですね。

朝比奈 僕らのメンバーの中にも優秀な人がいるんですが、一人の名をあげるには一般性が無いわけです。フルートの持田洋さんなんかも芦屋だけけど。

松本 ピアノは田原富子さんかな。

神戸大学の先生をしていらっしゃる遠藤秀一郎さんは大阪だけだ。

柴田 大阪テレマン・アンサンブルも大阪での活躍が多いですが神戸の人たちですね。

★クラシック音楽が聞ける店

柴田 最近クラシック音楽を聞かせる洋楽喫茶も、昔のことを思うと少なくなつたようですね。

松本 神戸ではローレライはセミ・クラシックですね。アコーデオンのうまい人がいて。

珈琲の茜屋はバッハなどのバロック音楽が聞けますね。

朝比奈 ランブルも古い名曲喫茶ですし、これは東京や京都にもありますね。



学生や職業人のメンバーから成り地道な活動を続けている神戸コンサートオーケストラ(上)、静かにクラシックを聴かせてくれ珈琲もおいしいモーツァルト(中)、楽しいバンド演奏がよい雰囲気ドイツ風音楽レストラン ローレライ(下)。  
寺井 モーツァルトって店もあるけど。



松本 この頃はみんな耳が肥えてるからね。むしろ全然音楽のかわらないストラランの方が新鮮だったりして(笑)でも音楽会もね、なにもえんぴつを着て大きな会場でやらなきゃいけないってことはないんですよ。むしろ百人くらいのサロンのところでワインでも飲みながら聴いてもらえるところがあれば、その方がいいわけですよ。

僕はそういうの方が好きなんですよ。

朝比奈 歌の場合は可能でしょうね。言葉がついてて、楽器を持たないから手でお酒のグラスを持ちながらでもやれますからね。音だけの勝負より直接的でね。

松本 人間の声ってのは楽器より強いのでしょね。

★地元のアーティストを集めて創作オペラを。

松本 僕は今、創作オペラグループを作ってみたいと考えているんです。神戸近辺に住んでいる人を中心にしたい。

それにはどうしてもオーケストラが必要なので、朝比奈さんあたりにぜひ作っていただきたいんです。神戸

を題材にしたものをやるような。いろんな物語もあるだろうから。

朝比奈 新しく組織を作るんじゃないくて、違う組織に所属している人たちを集めて、プロモーターを中心に一回の公演のためだけのものがいんじゃないですか。

松本 神戸の画家の中にも、舞台装置をもっと現代的な感覚のものでやりたい、とかいう人がいるんですよ。そんな人たちも一緒になって総合芸術としての創作オペラがやれますよ。

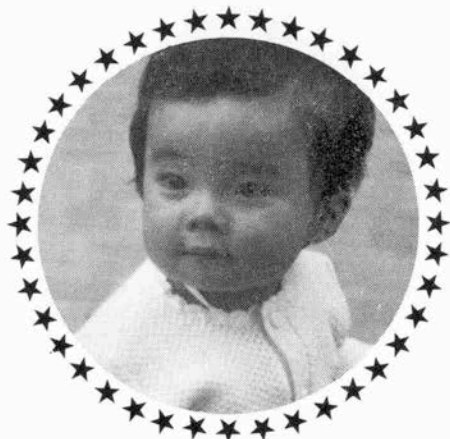
県や市の芸術祭にもそういう地元の人たちによる公演をもっとプログラムに組み入れてほしいですね。

それと神戸市立の芸術研究所みたいなところがぜひ欲しい。音楽だけでなく演劇・造形など芸術家の集まれる場所がないとね。

柴田 大阪は今芸術会館を作るという話がありますね。ホールも必要だが、芸術家の人たちの集まる場という発想です。

市や県も地域の音楽家を大事にしてほしいですね。

こんにちは赤ちゃん



亀山淳一くん／東京都

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋柿沼産婦人科



芦屋市大栴町 番18号  
国道芦屋川電停車東50米(明治生命南)  
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

幼児歯科  
小児歯科

SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

母親教室

(初診日)

火曜日 午前10時

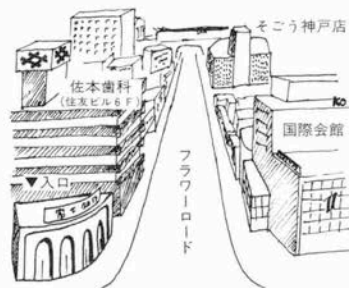
金曜日 午後2時

(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口  
住友銀行三宮ビル6階

〒650 生田区加納町5丁目39

TEL (078)331-6302-3







# アマチュア音楽の街

末広 光夫 〈ラジオ関西プロデューサー〉

武内 正文 〈ラジオ関西プロデューサー〉

野崎 謙治 〈ローストシティー〉

玉利 茂樹 〈ティファナー〉

★日本のジャズの発祥地神戸

末広 ジャズのほうからみれば神戸というところをやっぱり徹底的に売り込みたいですね。なにも神戸のジャズが素晴らしいというのではなくて、何故神戸がジャズということを人一倍声を大にしていわなくてはいけないかというところをこの際やっぱり神戸っ子の皆さんに知って頂きたいということです。ジャズということばを活字にして、つまり看板にして日本で一番最初に起ったのが神戸であるということを知ってもらいたい。

玉利 それはいつごろなんですか。

末広 大正末期。でね、井田一郎さんという人がいたんです。この人が大正末期にラフィンング・スター・ジャズバンド(笑う星)というのを編成したのが最初。それまで日本のどこを探してもジャズはない。ジャズってことがなかった。アメリカでジャズということばが使われたのほとんどかわらない。彼らがチェリーランド・ジャズバンドという名で昭和三年に東京三越デパートで二週間演奏した。これが東京で最初。だから神戸は日本の

ジャズの発祥地、いうならばアメリカのニューオリンズということになる。

野崎 MBSジャズオーケストラの中沢寿士さんは？

末広 彼は南里文雄さんたちと一緒に大阪の高島屋の少年音楽隊だった。昭和の初期ですね。けどその当時はジャズといえるかどうか。

武内 ブラスバンドかな？

末広 そう。だから、ちょっとジャズっぽいダンスバンド的なことをやったのは兵庫県になる。尼崎でダンスホールが盛んだった。何故かわかる？

野崎 遊郭があったから？

武内 考えすぎや。(笑)

末広 大阪は至上命令でダンスホールが禁止されていたんです。それで大阪が一番近いところっていうと、杭瀬になる。南里さんなんかみんな尼崎でバンドをもってダンスをやっていた。尼崎・西宮・神戸、この三つが拠点なんです。こんなこともあって神戸というところはジャズに限らず昔からポピュラー音楽の盛んなところですよ。玉利 カントリーは戦後ですか。

野崎 戦後ですね。僕らが一番良く聞いたのは、ラジオのロイ・ジェームス司会の「トリス・ジャズ・ゲーム」でした。

末広 戦後のアメリカのヒットパレードに出ていたのはほとんどカントリーですね。アメリカ人というカントリーだ。

野崎 日本の歌謡曲みたいなもので嫌でも耳に入ってくるというのがカントリーですね。

武内 進駐軍がやって来たことが大きいですね。それで飛躍的な進歩があったんだと思います。

野崎 米軍のキャンプのショーというのはおもしろいんですよ。食事しながら飲んでるんですけど、踊りのバンドが入っていて、踊っておいて、その間にショーとしてウエスタンのバンドをほおり込んでいる。それだけです。オーケストラというのがひかえていて、その間のおつまみですね。

末広 カントリーってのは神戸にいた外人の影響ということではまちがいないですね。カントリーはやはり戦後のものでしょうかね。

野崎 戦前に日本人の録音したものでアメリカの民謡のたぐいのもですが、ギター一本で唄っているのがあります。でも演っているのは神戸の連中ではないですね。

末広 現在、野崎さんたちは、アメリカのフォークソング、キングストントリオ・ブラザーズフォーのあのブームの後でしょ？

野崎 そうです。うちの連中のは時代からいくと非常に新しいものです。

末広 玉利さんとはどうなの？

玉利 ラテンというのは神戸でどのていどのものなのかいつごろからどうなのかということとはよくわからないけれど、トリオ・ロス・アミーゴスというバンドがありますね。神戸出身のトリオ。彼らだけです。神戸出身のバンドは。

末広 僕はティファアナができる前にね「ブルー・リボ



末広光夫さん

神戸でジャズが起ったのです

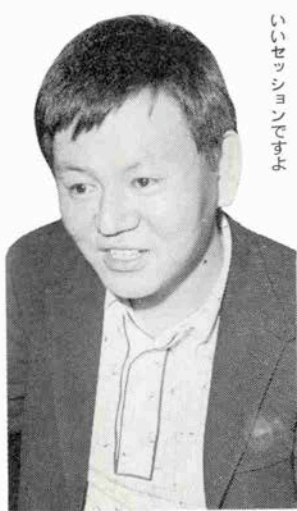
ン」へよく行っていたけど、あそこマスターはフラメンコでしょ。あそこへ行く客のなかにはけっこう好きな人がいてね「ククルクルパロマ」なんて唄っていたような気がするね。

玉利 「ブルー・リボン」の歴史は古いですね。しかしラテンは京都が盛んでね、中南米音楽同好会なんかあったりしましたね。

野崎 思いだすわ、何とかいう喫茶店があったね。

玉利 「ムーチョ」ですね。大阪は六年くらい前に中南米音楽同好会ができた。しかし神戸にはまだ無いんです。作りたいとは思っているのですが。

末広 マリアッチのロス・ドラドスって知ってる？ 神戸に一番初めに来たマリアッチでね。だけどマリアッチといっても誰も知らないの、とにかく宣伝しなくてはならなかった。宣伝するとなると音を聞かせなくてはならない。彼らにはだいたい屋外でやるんだから、歩かせようということになってね、センター街を歩いたよ。十二、三年前かな。歩いてみると、警官が困るって怒ってね、いいセッションですよ



武内正文さん

だから「こいつら歩けていったらすぐ演りよるんや」  
っていつてやった。(笑) 歩けていっただけで演奏し  
るなんていつていない。(笑) 日本で初めてだろ、な  
マリアッチを歩かせたのは。(笑)

**武内** 熱狂的な気狂いというファンは、カントリーやジ  
ャズよりもラテンのファンのほうが気狂いですね。ラテ  
ンとタンゴのファンは気狂いですね。

**玉利** 確かに中途はんば人はいないですね。僕として  
はブレイをする人をつくりたいですね。聞くのもいいで  
すけど、一緒にブレイして楽しんでもらいたいですね。

### ★神戸の街と音楽

**末広** となると学校でいうと関学だろうな。関学の影響  
力というのがかなり強い。だって、ジャズのほうでいう  
関学だもんね。

**武内** 右近雅夫のオリジナル・デキシード・ハート  
ウォーマーズ。

**末広** 関学、甲南の連中がバイトでやってたりして……伊  
藤のターヤンがそうだろ。お酒の配達の人にいつもラッ  
パを積んでいる。伊藤隆文、明石の酒屋さんです。右近雅  
夫の後輩にあたる。右近が関西の戦後のバイオニアにな  
る。当時NHKの全国放送にハートウォーマーズのレコ  
ードが流れるというのが良かって、いわゆるアングラレ  
コードの最初でしょ、そんなハートウォーマーズの存在  
があったので、アマチュアはみんなハートウォーマーズ  
をめざしてということ。関西にたくさんで、結成十何  
年というバンドが今でもやってる。東京の連中からみ  
ると、どうして関西だけが、大学を卒業して社会人にな  
ってもやってるんだらうということですね。

**武内** 神戸は東京とちがって、東京というのは人の寄せ  
集めであって、神戸は学校へ行くにも家から通って  
まず金の心配はしなくてもいい。東京だと四年間学校へ  
行ってそのあと地方へ分散していく。だから四年間一生



野崎謙治さん

神戸の音楽は保守的ですね

懸命やったことも卒業したらそれまでになってしまう。  
ところが神戸にいる人は、家から通ってるといふことで  
精神的に余裕がありますね。

**末広** 神戸でハードなロックが流行らないのは、それが  
大きな原因だろうと思う。ひとりて下宿住いでもしてて  
ごらん、わびしいから、なんかこうすごい刺激のある音  
を要求するでしょ。ところが家から通っていて、いわゆ  
る暖い家庭から通っているとそんな気が起こらないです  
よ。だいいち家庭がうるさいでしょ。やっぱりある程度  
抑制される。それと精神的にね、そんな激しいものを聞  
かなくたっていいんですね。

**野崎** その反面、神戸の音楽は地域的に神戸というのに  
かたまりすぎているように思うんです。たとえば、私の  
ところのウエスタンの分野にしてもなかなか外を見ない  
んですよ。

いろんな音楽を勉強するということ、外へ出ていつ  
て交流して自分の輪を広げてやろうということがあまり  
ないですね。そういう意味で神戸の音楽は非常に保守的  
ですね。

中南米音楽同好会を  
作りたいですね



玉利茂樹さん





▲ソネの店内、ピアノを弾くのが川瀬健さん



▲▶ハートウォーマーズのメンバーとかつての演奏を収めた名盤



▲日本のジャズの最初の人  
故井田一郎さん



◀ オヤジさんこと南里文雄



▲エルヴィノの向田さん



◀ アルバトロスでのセッション。ピアノが鍋島さん。

★お店で聞ける神戸の音楽

末広 神戸にいとらゆるジャンルが聞けるでしょうね。カントリー、ラテン。スペインはブルー・リボン、エルヴィノ。シャンソンのサントノール。

玉利 デキシールの専門店はないね。

末広 完全な専門店というのはないね。

武内 中川宗和さんのデキシールランドがあるけれど、彼の場合の神戸における功績というのは評価するべきですね。いわゆるお客さんと一体になってワーツと楽しむという分野での神戸でのパイオニアですね。

末広 最近私はローレライのバンドを買った。あのバイオリン奏者はすごいエンターテイナーだよ。彼は本当にお客さんを大事にするよ。場所がね、もうちょっと中山手の方にあるとね。野崎さんとも上に行ったら？

玉利 あそこはいいじゃないですか。

野崎 いや、やっぱり感じる時がありますよ。一般的にあの通りは低調でね。あの近辺でジャズの店でもなんでもあると、音楽を求めるお客さんの流れというものがでさるんですがね。そうならば歩いてるだけで活気が出ますからね。

末広 アメリカだって、一カ所かたまってるもの。みんな車で来てるから、一カ所に車をつけてあとはそのへんを何軒かまわるといふふうだね。ラテンを聞いて、カントリーを聞いて、ジャズを聞いて……。

野崎 悪酔いするんじゃない？(笑) そんな意味では、あの通りはいいですね、ソネ付近の。ひとつの夜の神戸の中心になるんじゃないですか。僕のところは外国の船員さんたちのもつムードがあつて合ってるのでね。

武内 ソネの前のアルバトロスはね、鍋島直親さんね。毎月第四日曜の夜の九時頃からセッションがあつてね、その時は鍋島さんはピアノから本職のヴァイヴに代えてやっています。なかなかいいセッションですよ。



▲お客さんと飲んで歌ってスイングして、デキシーランドの中川宗和さん



▲ニューオリンズ名誉市民でもあるラスカルズ



▲右側テナーの徳大寺公忠さん



▲神戸の名物、オノヤンのチャールストンは、全国でも有名。

中央のトランペットが▶伊藤隆文さん、そしてボサリオのメンバー、現在明石で活躍中。



◀サントノーレでのシャンソン教室、ピアノを弾くのが堀部子さん。

### ★神戸の街の演奏家たち

末広 玉利さんとの後輩バンドはないの？

玉利 それがないんです。

末広 あなたがたの次はどうなるの？

玉利 京都外大の学生さんがいますけど……

末広 ティファアーナはバンドを育てると言うことをやって欲しいですね。

玉利 それは感じますね。

末広 それとね。これだけフォルクローレが盛んなのに

だれもないでしょ。あなたがたはメキシコをやって下さい。

私たちがフォルクローレをやりますっていうバンドが出てこなければおかしいですよ。フォルクローレの

チーム欲しいな。あと神戸で出て欲しいとか、有望なプレイヤーはないのですか？

武内 ジャズの方からいくとね、今、人形の家でやっている

徳大寺公忠さん。東京のほうでも関西のレスタイヤン

グと有名です。それと、小林泰さん。ウエス・モンゴメ

リーの音かな。

末広 それから、関学のクリスコナーといッソノてルヲ氏

が名づけた原田紀子さん。クラリネットの北村英治がこの

の間共演してね、アマチュアでしかもその番組のプロデ

ューサーが唄うっていうのだからと思っただのが、ところ

がそれはうまい。北村英治が曲が終ったとたん文字通り

土下座して、「おそれいました」って。ほかににはね

ソネのピアノ、川瀬健さん。ウォッシュボードの小野克

己さん、というより小野ヤン。彼の踊りは神戸の名物で

す。ジャズ以外のところで、福原照眺さんのコントリ

ー。大変にうまいですね。レパートリーもそう多くはない

が一曲、二曲と唄わせればプロ顔負けの味ももっています

ですね。あとにもまだいいプレイヤーが神戸にいますが、

みんな楽しいですね。神戸の音楽はやはりアマチュアの

音楽であって、本当に楽しい音創りに懸命ですからね。